



笹部新太郎「亦楽山荘」跡・福知山線廃線敷を訪ねる

担当：Aグループ（里川）シリーズ

- 1.日 時：2022 年 4 月 7 日（木）
- 2.集 合：J R 福知山線 武田尾駅 10 時 30 分
- 3.参加者：18 名
- 4.行 程：武田尾駅発（10：20）⇒桜の園入口（11：00）⇒桜坂ヤマザクラ展望所（11：15）⇒桜の園入口広場昼食（12：00）⇒出発（13：00）⇒満滝尾トンネル出口（13：30）⇒桜の園入口を経て廃線敷出口（13：45）⇒武田尾駅解散（14：45）

今回の活動は、好天に恵まれて日差しの暑さを感じ、カジカの鳴き声を聞きながらの活動でした。JRの廃線敷を2箇所のトンネル（短い）を通り、笹部新太郎が拓いた演習林（桜の園）を巡り、ヤマザクラの大木の間をジグザグに登り、エドヒガンの5姉妹木まで行き、写真に収めて下って、満滝尾トンネル（2箇所の長いトンネルが有る）を超えて、折り返して桜の園入口を経て廃線敷出口から武田尾駅へと向かいました。

- ・笹部桜 笹部氏が神戸市の自宅の庭にあった実生桜で、最近のDNA検査による研究でヤマザクラと染井吉野の交雑種との説もあるとの事です。
- ・櫻守の会 笹部氏の没後「亦楽山荘」は、長く放置されていたが、宝塚市の「桜の園」として再出発し、「櫻守の会」が発足して以後、身近な里山を守る活動をしている。



笹部桜



八重紅しだれ桜



エドヒガン

